

わかやま

和歌山が

誇る大地

南紀熊野ジオパーク

問 県庁自然環境室 ☎073-441-2690

和歌山は自然に恵まれた豊かな地であり、特に南部は、世界的にも価値のある地形や地質を有し、多種多様な動植物、熊野信仰など、数多くの自然と文化を体感できる地域です。

この地域は、平成26年に日本ジオパーク「南紀熊野ジオパーク」に認定され、4年に1度行われる再認定審査でも、ジオパークガイドの自主的な活動やガイド能力などが高評価を得て今年1月、再認定されました。

県では、ジオパークの魅力をさらに多くの方に感じてもらうため、7月に南紀熊野ジオパークの拠点となる「南紀熊野ジオパークセンター」をオープンしました。

今後、このセンターを中心に、情報発信や誘客などを行い、ユネスコ世界ジオパーク認定に向け取り組んでいきます。

ジオパークのエリア内にある見どころをジオサイトと呼びます。地質、地形、自然、歴史、文化など、将来にわたりその地域に残しておきたい、そのジオパークを特色づける場所のことです。南紀熊野ジオパークでは、地域内を西、南、東、北の4つのエリアに分け、現在、107カ所を選定しています。南紀熊野ジオパークのWEBサイトでは、各ジオサイトやお勧めコースなどを紹介しています。

見どころ (ジオサイト)



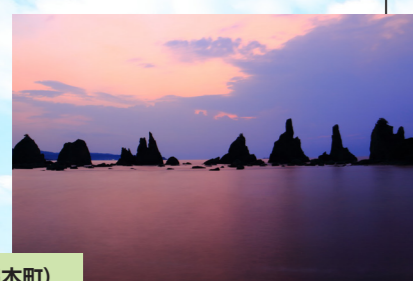
富田川の潜水橋 (上富田町)



フェニクス褶曲 (すさみ町)



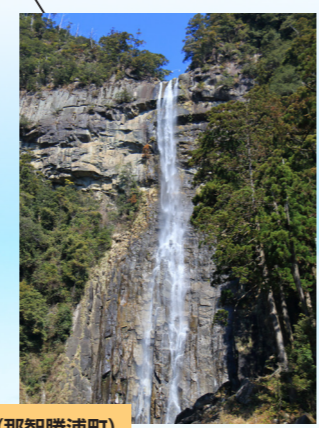
滝の拝(古座川町)



橋杭岩(串本町)



梶取崎(太地町)



那智の滝(那智勝浦町)

神倉山のごトビキ岩 (新宮市)



プレートが会って 生まれた3つの大地

ジオパークは、英語で「大地の公園」を意味し、その地域の大地のなりたちを知るだけでなく、歴史・文化・動植物・食などを通じて、大地と人の暮らしの関わりを実感して楽しむところです。

特に、南紀熊野ジオパークは、プレートの沈み込みで生み出された3種類の地質体がそろって見られる世界的にもまれな地域です。



千畳敷(白浜町)

南紀熊野ジオパーク

南紀熊野ジオパーク